

MF シリーズ スライサーソフト比較

MF シリーズの推奨スライサーソフトは「Slic3r」ですが、形状によっては「Cura」を利用する事で、より綺麗に造形できる場合があります。製品ごとの特徴をご理解いただき、使い分ける事をお勧めします。

【シングルヘッド MF-1100、MF-1000、MF-800、MF-500】

はがし易いサポート材を造形する Cura をお勧めします。

3D プリンタ	Slic3r	Cura
MF-1100 / MF-1150	○	◎
MF-1000 / MF-1050		
MF-800		
MF-500		

◎: 特におススメ、○: おススメ

【デュアルヘッド MF-2500EP II、MF-2500EP、MF-2200D、MF-2000】

両方のヘッドを使用する場合は、Slic3r をお勧めします。

T0(左側)のみ使用する場合は、Cura をお勧めします。

T1(右側)のみ使用する場合は、Slic3r しか使用できません。

3D プリンタ	使用ヘッド		Slic3r	Cura
MF-2500EP II	片方のみ	T0(左側)のみ使用	○	◎
MF-2500EP		T1(右側)のみ使用	○	×
MF-2200D	両方使用	2色造形の場合 ※1	◎	○
MF-2000		異材種造形の場合 ※2	◎	×

◎: 特におススメ、○: おススメ、×: 使用できません

※1. 左右のヘッドで同じ材料を使用する造形。(右 PLA、左 PLA など)

※2. 左右のヘッドで異なるフィラメントを使用する造形。(左 PLA(本体造形用)、右 ABS(サポート材造形)など)